

# UFO と旅する本

## (付記-2：各書籍の概観と真理の探究)

広大な宇宙に目を向けるとき

太陽や月の巡り、夜空に輝く星々の巡り

天地自然、生きとし生けるものたちの歩み…

惑星地球号は、回転しながら大宇宙を旅している

想えば人はみな宇宙の旅人…

日々、新しい旅にあり、様々な出会いがある

この地球だけに生命が存在しているとは思えない

異星人に会った、UFOに乗ったという人々がいる

数多くの UFO・宇宙人にまつわる書物の中で

ここでは奇怪な話や霊的チャネリング情報ではなく

より現実的に人生に役立つ、旅が楽しくなるような

そんな本を集めて紹介させていただきました

以下、紹介書籍の概観等を  
簡潔に記してみました。

関心を持たれた書籍は購入  
して読んでみてください。

(書籍名、著者、訳者、出  
版年、出版社、主な目次  
は「UFO と旅する本」に  
記載しています)

### UFO と旅する本

—宇宙人の生活探求 50 撰—



「UFO と旅する本」-宇宙人の生活探求 50 撰-紹介リスト

※	書 籍 名		原書年
(1)	01	空飛ぶ円盤実見記	1953
	02	空飛ぶ円盤同乗記	1955
	03	空飛ぶ円盤の真相	1961
	04	空飛ぶ円盤とアダムスキ	1954～
	05	宇宙からの訪問者	1976
	06	テレパシー	1958
	07	生命の科学	1965
	08	宇宙哲学	1961
	09	アダムスキー論説集	1950～
	10	宇宙の法則	1950～
	11	宇宙維新	1930～
	12	宇宙のパイオニア	1949
(2)	13	宇宙からの警告	1958
	14	わたしは金星に行った	1976
	15	大統領に会った宇宙人	1991
	16	天使的宇宙人とのコンタクト	1959～
(3)	17	宇宙の友人たち	1977
	18	私が出会った宇宙人たち	2008
	19	宇宙からの使者	1988
	20	地球人へのメッセージ	1999
	21	宇宙人はなぜ地球に来たのか	2001
	22	終末へのカウントダウン	2015
	23	スペース・ブラザーズ	2011
(4)	24	私はアセンションした惑星から来た	1991
	25	地球人になった金星人オムネク・オネ	2000
	26	金星人オムネク地球を救う愛のメッセージ	1997
	27	金星人オムネクとの対話	2013

(5)	28	宇宙語・宇宙人(神々のルーツ)	1956
	29	空飛ぶ円盤の秘密	1954
	30	光速の壁を超えて	1980
	31	アミ・小さな宇宙人	1986
(6)	32	宇宙の四次元世界	1971
	33	聖書と UFO	1974
	34	UFO 原理と宇宙文明	1991
	35	宇宙船 天空に満つる日	1993
	36	UFO と異星人の真相	1995
	37	私は宇宙人と出会った	1997
	38	プレアデス星訪問記	2009
(7)	39	21世紀は宇宙文明になる	1997
	40	エネルギー革命前夜	2008
	41	フリーエネルギー、UFO…	2011
(8)	42	ディスクロージャー	2001
	43	UFO テクノロジー隠蔽工作	2006
	44	究極の魂の旅	2007
	45	光の勢力は集合する	2008
	46	アダムスキーの謎と UFO コンタクト	2013
	47	あなたも ET とコンタクトできる	2013
	48	宇宙意識で生きる地球人のため…	2016
	49	ありえない世界-秘密宇宙計画…	2015
	50	非認可の世界-世界最大の秘密…	2017

※＝便宜上の分類

(総観／各書籍の主な共通点)

- ▶太古から地球を訪問している友好的な宇宙人が存在する
- ▶地球人の宇宙意識、テレパシー等、精神性向上への助言
- ▶フリーエネルギー、科学技術等、宇宙文明創造への援助
- ▶人類の進化を援助する勢力とそれを阻む勢力の真相

## (1) 概観 01~12

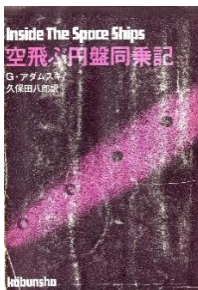
主に太陽系内の惑星人と会見した、元祖・宇宙人コンタクティー、ジョージ・アダムスキー氏の著作です。

01



デズモンド・レスリー氏とジョージ・アダムスキー氏の共著。全世界に空飛ぶ円盤ブームを巻き起こした書籍。1952年11月20日、アメリカの砂漠で、アダムスキー氏が初めて、金星人オーソンと会見一。その23日後、再び現れた円盤から投下されたフィルムには、金星からのメッセージが映っていました。

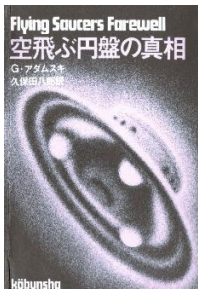
02



金星人オーソンと会見して以来、アダムスキー氏は空飛ぶ円盤に同乗を許され、何度か宇宙旅行に案内されました。

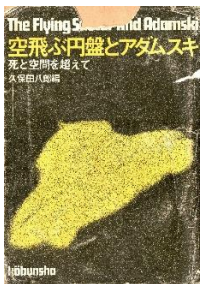
初めて見た宇宙空間や月の世界、金星・土星の母船の内部、長老たちから受けた地球人へのメッセージ等が報告されています。

03



太陽系内の宇宙人たちの活動、宇宙船の推進原理や進化した宇宙人たちの生き方等がまとめられています。それと宇宙人からのメッセージを伝えるためにアダムスキー氏が行った世界講演旅行の記録、ルシファー伝説など。01~03 はアダムスキー氏の UFO 三部作とされています。[\(別途資料➡\)](#)

04



1953年頃からアダムスキー氏と文通し、送られてきた資料や著書を翻訳したり、GAP(UFOの真相を知らせる運動)の日本代表として活動していた久保田八郎氏編集の書。アダムスキー氏の金星旅行記、土星旅行記、金星人とは等、書簡を含む貴重な資料が掲載されています。

05



前記「空飛ぶ円盤実見記」「空飛ぶ円盤同乗記」の合本。新アダムスキー全集では「第2惑星からの地球訪問者」として中央アート出版社から発売されています。(左表紙はアダムスキー氏撮影の円盤) 日本GAPの流れを継ぐホームページ「Cosmic Consciousness」には新アダムスキー全集(全12巻)の紹介、各書籍の対訳、自動読み上げ等が掲載されています。

06



宇宙人の基本的言語はテレパシー、その習得方法のテキストです。「真の共通語とはただ一つ存在します。それはすなわち”宇宙の力”として万象をつらぬいて流れる、目に見えない、創造的感覚波動である、”宇宙の英知”そのものです。…この”宇宙の因”は常に活動しています(本文より)」

07



地球人よりも精神的、社会的、科学的に進化し、楽園のような世界に住んでいる宇宙人の生命観一。宇宙人から教わった教えを、アダムスキー氏が講座形式で伝えていた内容をまとめて公表した書物。自然の活動を観察し、その宇宙意識から学び、進化していく道が説かれています。宇宙時代の「バイブル(聖書)」とも呼ばれています。

08



この太陽系の近隣惑星人たちは有史以前から地球を訪れている。その卓越した英知と科学技術が地球人にも伝えられはじめました。「宇宙人は実際的な生活に関することしか話さない…そして天国を実現させようとするなら、地球上にこそ確立されなければならないのだから一。(本文より)」

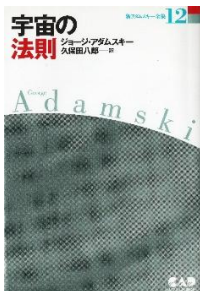
06～08 は宇宙人の教え三部作。

09



アダムスキー氏が語った秘話や講演録が収められています。1965年3月デトロイトで行われた生涯最後の講演では、…私たちの太陽系は崩壊の周期にあり、近隣の惑星人たちは、新しい太陽系を発見していて、移住をはじめている…地球でも宇宙船の建造を一と呼びかけられています。

10



新アダムスキー全集最後の12巻。宇宙の英知、異星人の生き方、意識、転生、想念、過去世、新しい太陽系、創造主の現象化など、アダムスキー氏の講演録。会場での質疑応答も収められています。巻末には、アダムスキー氏の生い立ちや活動、宇宙人との出来事を含む年表がまとめられています。

11



アダムスキー氏は8歳から12歳までダライ・ラマの住むチベットのポタラ宮殿で修業し、1930年代(40歳代)頃から「ロイヤルオーダー・オブ・チベット」という啓蒙活動をされていました。当書はその頃の実践論説集です。宇宙船と遭遇する前の記述で、ヒマラヤに住む聖者方の教えと進化した宇宙人の教えは共通しているようです。

12

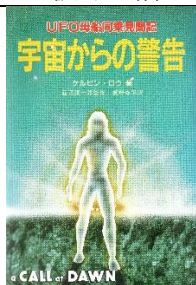


アダムスキー氏が金星人と会見し、宇宙旅行へ案内される、その3年ほど前に出版された書物です。地球人が宇宙へ旅立ち、月の都市や自然、火星や金星の世界など、宇宙人の文明を見聞した模様が記されています。これは、実際の肉体で体験する以前に、生命の科学で言う「意識による旅行」によって書かれたものと推測されます。



## (2) 概観 13~16

1950年代にこの太陽系の宇宙人(主に金星人)と接触又は彼等の活動を伝道した4人の方の著作です。



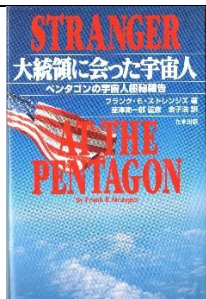
13

ケルビン・ロウ氏の宇宙船同乗・宇宙人会見記。地球の聖白色同胞団(大師方・ハイラーキー)の教えも連動して警告されています。



14

S・V・メディナ氏のコンタクト・金星文明見聞録。金星の都市、教育文化、産業、衣食住、生活様式等が伝えられています。



15

金星人・ヴァリアント・ソーの物語。(別途説明➡)映画「地球の静止する日(1951)」と内容がよく似ている出来事です。



16

H・メンジャー氏が出会った天使のような宇宙人と宇宙旅行、地球での活動、未知の世界を冒険していく体験の数々。



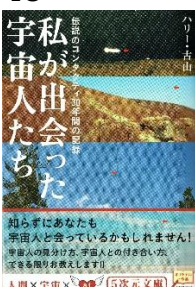
### (3) 概観 17~23

アダムスキー氏の体験を支持する UFO 教育グループ関係の方の宇宙人会見記、UFO 研究の書物です。

17



18

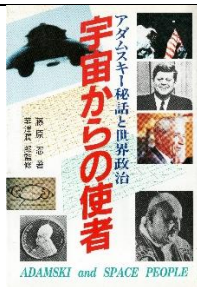


1970 年代渡米された、古山晴久氏が出会った地球に  
来ている宇宙の友人たちとの会見  
記です。UFO 教育センターでの活  
動や人間は死後、

3秒間で転生するという原理も説明されています。

第2弾は 2008 年までの宇宙人との会見・体験記録。  
アダムスキー氏が金星人オーソンと出会った場所や、  
太陽系惑星会議が行われたというサンホセへの訪問、  
イエスとマリアの真実、金星人、火星人的特徴など。

19



アダムスキー氏の生涯と  
活動秘話を紹介しながら  
宇宙人が関わる地球の歴  
史や政治的な動向等、U  
FO 問題の核心に迫る本。

20



アダムスキー氏が伝えた  
宇宙情報—太陽系文明  
と地球、宇宙船と宇宙人  
の真相、宗教と円盤等、  
地球人へのメッセージ。

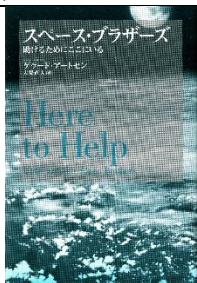


UFO 教育グループ(※)を主宰していた葦澤潤一郎氏の50年に渡る研究—UFO と宇宙人活動の世界的な歴史書。

隠蔽工作や情報

操作が錯乱する中、地球人の意識と文明の進化を援助する「惑星規模のレスキュー部隊が存在する」…。

第2弾は、隠された宇宙開発の真相や地球開星に向けての動向、地球大変動(終末)の時に起きるキリストの再臨・巨大 UFO による空中掲挙、惑星移住等について書かれています。アポロ11号(1969年)飛行士は月面で宇宙人とコンタクトしていたという記事も有り。(葦澤氏は「ビートたけしのTVタックル」に度々出演)



宇宙人は友好的であり、人類を助けるために地球に来ている…、不朽の叡智の教えを交え UFO 飛来目的の解明に挑む本。

(※)UFO 教育グループは、1977年から空飛ぶ円盤と宇宙の友人達に関する機関誌「UFO 教室」を発行していた。1978年アメリカの「UFO 教育センター」から、古山氏を含む4人の宇宙人コンタクティーを招き、宇宙意識や宇宙文明創造に向けて、東京、福岡、高知等でセミナーを開催、同時にTV出演もされ、話題となった。

## (4) 概観 24~27

金星から宇宙船でやって来て、地球社会で生きるオムネク・オネク氏の著作、インタビュー等の書物です。

24



「私たちはティサニアという星(金星)から来ました。金星には戦争や貧困はありません。私たちは病気というものを知りません。寿命は何百歳にも及びます。犯罪は存在しません。ずっと昔に磁気と太陽エネルギーの開発が私たちの生活を根本的に変えました。誰もが意識と心の本当の力によく

気づいており、テレパシーは通常のコミュニケーション手段です。…(本文より)」1952年、オムネクは金星の都市レッツから、地球にやって来て生活を始めた。金星人が語る話の数々、益子祐司氏の翻訳と解説。

25



天使たちよ泣かないで…オムネクが語る地球での人生・自叙伝

26



金星のスピリチュアル・ハンドブック〜魂・力強い存在創造の可能性…

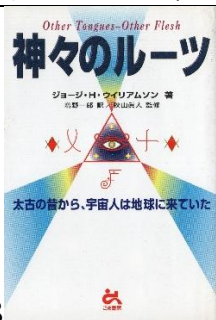
27



訳者を含め様々な人の質問に答える、オムネクのインタビュー記録集

## (5) 概観 28～31

(2)に続いて、銀河系諸惑星の宇宙人と会見等を行い、メッセージを伝えている海外4人の方の著作です。



28

金星人オーソンの足跡を撮影以来、世界を歩き人類と宇宙人の関係を探求した宇宙考古学のバイブル。



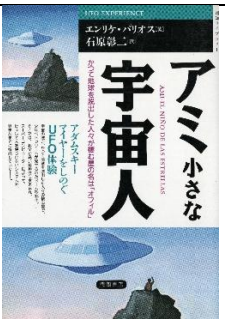
29

月の向こう側(第2の月)から来たというクラリオン星の美しい女性機長とのコンタクトストーリー。



30

ケンタウルスのメトン星人と交合し子供を授かったクララ氏の宇宙旅行記。宇宙エネルギーや自然との調和等、生命の秘密を解く。



31

オフィル星の無邪気で明るいアミとの出会いとおとぎ話のような会話。宇宙旅行で教わった宇宙の基本法や愛の科学等。

## (6) 概観 32～38

(3)に続いて、日本の UFO・宇宙人研究者、コンタクティの方の書物です。

32

### 宇宙の四次元世界

清家新一 著



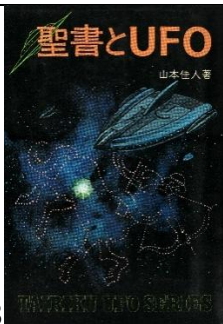
愛媛県宇和島市に「重力研究所」を設置していた清家新一氏の著書。アダムスキー氏の円盤写真や宇宙情報を基に、宇宙機の科学的推進原理を解明された。四次元の科学、タキオン（超高速の微粒子）、メビウスの輪・クラインの瓶、宇宙文明への途、使者を通じたコンタクト、

火星の恋人との文通、セックスエネルギー、人間異性体ロボット、生殖農業機械、宇宙船建造への道程等。

33

### 聖書とUFO

山本佳人 著

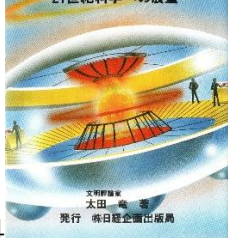


聖書にある UFO の描写や宇宙からの訪問者との交流物語を紐解く。キリストの奇蹟、宇宙人による地球援助計画の軌跡と将来を展望する書。

34

### UFO原理と宇宙文明

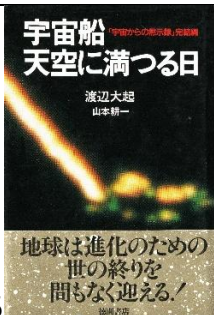
～21世紀科学への展望～



文明野郎 著  
太田 一 著  
発行 株式会社企画出版局

先進宇宙人の文明に仲間入りをする道-、それを阻む悪魔的勢力の暗躍。自然創造エネルギーの物理学的承認、愛と慈悲を生む科学的改革を訴える書。





35

「その日、その時、地球を覆うほどに膨大な数の‘宇宙船’と‘空飛ぶ円盤’が訪れる…」宇宙人たちは愛と真理の地球新時代の訪れを告げる。



36

異星人の宇宙船内には複数の日本人もいた…金星に移住している人もいる。太陽系内の諸惑星に案内されて学んだ、異星人と文明の様子を伝える書。



37

宇宙船に200回以上乗船したという著者の体験談や想念の力の応用、新時代への想い。UFO製作法やUFO操縦マニュアルも載っています。



38

元・公務員が体験した宇宙船同乗、プレアデス星人の科学技術、産業、物流、教育、文化等、貨幣制度のない平和で豊かな社会を見聞した記録とメッセージ。

## (7) 概観 39~41

宇宙文明やフリーエネルギー研究に関する書物です。

39



これから地球に何が起きるのか。宇宙について知らなければならない情報、地球大変動の理由、UFO・宇宙文明の内容を知って、地球規模の対策を考える書物です。人類の宇宙意識への改革、貨幣経済システム・科学・自然エネルギーへの変革、現代医療・農業の変革、宇宙的人生他。

40



化石燃料による発電や原発、送電網に頼らず、空間から無尽蔵に電気を取り出す‘フリーエネルギー装置’への変換を推奨する書物。この装置が世界に普及すると社会の貧困も環境も改善され、人類の平和な繁栄時代が到来します。JF ケネディ暗殺(1963 年)直前の演説草稿も載っています。

41



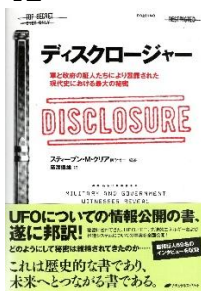
日本における‘フリーエネルギー’研究の第一人者:井出治氏の著作。長年 UFO の推進原理を研究され、奥さんが交信する高次元の宇宙人から助言を得たり、ついに超効率発電機が完成、実用化が待たれています。新エネルギー技術の開発を巡って様々な体験や出来事が記されています。



## (8) 概観 42~50

2000 年以降の UFO ディスクロージャー(情報開示)と地球外知的生命体関係の書物です

42



2001 年5月、アメリカで行われた歴史的な UFO 情報公開(ディスクロージャー)記者会見の元資料で、宇宙飛行士、米軍・政府・NASA 関係者、科学者等による UFO との遭遇・地球外生命体に関する情報証言集です。極秘にされて来たフリーエネルギー装置、ET の存在、反重力地球製 UFO の暴露等。

43



「宇宙平和、宇宙からの啓示、地球上に何千年も持続し得る真に高度なテクノロジー文明、そういった特徴を持つ新しい世界を、進んで取り入れようとする勇気が私たちにあるだろうか？(序文より)」  
影の政府の隠蔽工作を暴き、情報開示に向けて、グリア博士が語る-隠された真実・禁じられた知識-

44



アダムス山の麓に暮らす J・ギリランド氏のスピリチュアルな旅の記録-。光の大師方や地球外の宇宙人との出会いの数々…「悟りの道歩む者、人類と地球への奉仕の道を歩む者たちは、大いなる援助を受けることになります。それは救出作業ではなく、共同作業です。…瞑想中に訪れたプレアデス星人の言葉より」

光の勢力は集合する  
— UFOと彼らの霊的使命 —



「過去60年以上もの間、現代の諸政府がUFOの現象とその平和的な活動の事実について国民に隠してきたということとは驚くべきことではないだろうか？」

45

神智学・トランスヒマラヤ密教に言うキリストの再臨・世界教師マイトレーヤの出現に向けて活動されたP・クレーム氏のUFOと新時代に関する著書。

アダムスキーの謎と  
UFOコンタクト



46

スペースピープルから学んだこと…生きている喜び、未来への希望…。UFO・宇宙人と会見した人たちの情報の考察、宇宙の真実を探索する本。



47

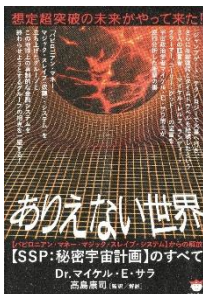
2010年、日本地球外知的生命体センターを設立されたG・サリバン氏の著書。UFOとET(Extra-Terrestrial)の研究と体験からETとコンタクトする方法を伝えています。



48

地球人も宇宙意識で生きるように。高次元のテクノロジーを活用して幸せな社会を実現するためのガイドブック。様々なエネルギーワークや実習方法が紹介されています。

49



影の政府が進める「秘密宇宙計画」を内部告白者達の証言に基づき宇宙政治学者 M・E・サラ博士がまとめた書物。銀河国際連合、惑星間企業複合体の存在、反重力・時間ドライブ・3D ホログラムなど高度な宇宙テクノロジーの数々。異星人種族の関係リストも掲載されています。(ナチスの円盤とブリル協会については別途資料も参照)

50



UFO・地球外知的生命体の「ディस्कロージャー・プロジェクト」を主宰する S・M・グリア博士の著書。ロズウェル文書、ゼロポイント・エネルギー、地下基地や月面基地などに関する機密ファイルの公開、CE-5 コンタクトの方法、偽旗作戦の暴露、人類の未来に向けての行動計画等が書かれています。

私たちの子供たちへ…「違法な秘密主義に終止符を打ち、非認可プロジェクトに隠された地球及び命を救うテクノロジーを普及させれば、公正、平和、そして持続可能な文明を地球に確立し、ひいては平和に宇宙を探索できるようになるでしょう。(本書より)」

(付録) 関連雑誌「UFO と宇宙」「UFO コンタクティー」「ムー」「アクエリアス革命」、UFO 関係グループの機関誌、ドキュメンタリー映画の予告編リンクを掲載しています。

➡本稿掲載元 HP:「野愛の里・遍路風」

2025.10.記